

# MATSUNAGA HEADLINE NEWS



2009 Vol.3

TAKE FREE

発行元：株式会社 松永建設  
発行人：松永大祐  
〒339-0043  
埼玉県さいたま市  
岩槻区城南五丁目6番6号  
TEL：048-798-1751 (代)  
FAX：048-798-0075  
【HPアドレス】  
<http://www.matsunaga.gr.jp>

明けましておめでとうございます。  
本年も何卒宜しくお願い申し上げます。

株式会社 松永建設 代表取締役社長 松永大祐



Challenge!  
One more  
Challenge!!

為せば成る。  
為さねば成らぬ 何事も。  
成らぬは人の為さぬなりけり。

第46期 松永建設グループスローガン

新年のご挨拶

# 2009年も、提案型企業として ベストを尽くします



株式会社 松永建設 代表取締役社長 松永大祐

新年明けましておめでとうございます。謹んで初春のお慶びを申し上げます。社長就任から1年、皆様から格別のご支援とご厚情を賜りながら、2009年を迎えられましたことに、厚く御礼申し上げます。

昨年は、サブプライム問題を発端とした世界的な金融危機が深刻化し、日本経済においても円高・株安の進行と原油燃料高、資金調達環境の悪化などにより、企業倒産並びに企業業績の下方修正が相次ぐこととなりました。

このような環境下、弊社が皆様のお役に立てることは何か…。それは、弊社が創業以来、地域密着型企業として

培ってきた信用と蓄積してきた技術力、そして松永建設グループのトータルサポート力をさらに発展させ、皆様に「安心・安全」をご提供することにあります。

本年は「環境企業」としての一面も発展させる所存です。建築に必要な要素は、時代とともに変化しています。機能性、経済性、デザイン性など様々な特徴を有した建築物がこれまで求められてきましたが、今後もっとも重視される要素が環境性能です。地球温暖化、資源の枯渇、自然回帰といった現実を前に、今、大きな方向転換が求められています。

建築に必要な環境性能とは、単に地球環境に配慮しているという解釈にとど

まることではなく、暮らしや生活環境にまで目が行き届いていること、すなわち「人」の視点を重視した環境性能を大切にすることにあります。

2009年も社是である「信を以て宝と為す」をしっかりと心に刻みながら、「我々が提供できるベストとは何か?」「どのような価値を提案できるのか?」常に自問自答し、「提案型企業」としての道を歩み、皆様から満足と信用をいただけるよう努力してまいります。

2008年のご愛顧に感謝申し上げるとともに、皆様方の益々のご隆盛を祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

文化活動  
レポート

## 『次期社会人』『次世代経営者』 次代を担う若手に向けて、エールを発信

昨年5月と11月に文化活動の一環として、2つのセミナーで会長と社長が講演を行いました。テーマはそれぞれに異なりますが、どちらも地域社会の発展、経済活動の活性化に寄与することを目的としており、企業経営者として貴重な機会となりました。

5月23日には、東洋大学・川越キャンパスにて松永功会長が講演を行いました。テーマは「企業経営者として学生に望むこと」。戦後日本の経済成長期を端緒に、グローバル化の進む昨今までを、企業経営者ならではの視点で振り返りながら、働く環境としての企業の社

風や内実の大切さ、望まれる社会人像などを学生に指南しました。

講演の中で、学生たちが最も身を傾けて聞き入っていたのは、そのタフな人生の体験談が豊富に盛り込まれていた部分です。「仕事こそが人を磨く」「仕事の対価として得られるものは『縁』。多くの人の良い縁は、良い結果を生む」といった、会長が仕事に邁進した半生から得られた数々の経験談が語られました。充実した内容は、きっと学生にとって大きな刺激となつたに違いありません。

一方、11月15日には、松永大祐社長が宮崎産業経営大学に赴き、「みやざき次世代経営者講座」にて講義を行いました。中小企業の若き経営者向けの、経営戦略という実践的な内容です。

この日のテーマは、経営に際し社長自らも理念としている「戦わずして勝つ」。これは中国春秋時代の兵法書『孫子』からヒントを得たものです。企業同士が互いを食い潰し合うような、不毛な競争状態から脱却していかない限り、中小企業に生き残る道はない。なれば、強みや優位性こそを積極的に武器とし



▲宮崎産業経営大学での講演は「自分自身や、自分のやり方をもう一度振り返ってみる好機に」と社長

て用い、「戦う前に、勝負を決していこうじゃないか」という心意気が、この経営戦略には込められています。

講義前半では、その有効性をデータ等で示しながら、松永建設の経営手法と成功例を実際に紹介、後半では討論会が行われ、参加者がそれぞれに考える「戦わずして勝つ」戦略を次々に披露しあう場となり、盛況のうちに幕を閉じました。社長も、宮崎の若手経営者の方々の明るく、前向きな気質に大いに触発され、たくさんの勇気をいただきました。



曙ブレーキ工業(株) 館林製造所 増築工事



慶寿会クリニック 新築工事



(株)関商店 東京事業所 新築工事



特別養護老人ホーム「鴻巣まきば園」新築工事



八潮市立八条中学校校舎他 耐震補強及び大規模改造工事



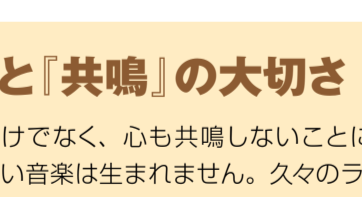
学校法人 開智学園 屋内プール 新築工事



新井歯科医院 新築工事



7県住岩槻諏訪山下団地 第2工区建築工事



(株)二光製作所 新築工事

◎松永建設グループが近年手掛けた工事を、一部抜粋して掲載しております。街で建築物を見かけた際に思い出していただければ幸いです。



▲東洋大学・川越キャンパスでの会長の講演。参加した学生のまなざしは、とても真剣だった



社長の  
男気  
コラム

## 15年ぶりに旧友とライブ演奏! 改めて知った『和』と『共鳴』の大切さ

久しぶりに昔の音楽仲間と集まって、9月末に池袋の小さなライブハウスでバンドのライブをやりました! 私の三大趣味といえば音楽、スキー、車なのですが、どれも、その瞬間にだけ得られる陶酔感やエクスタシーがたまらないもの。ライブも同じで、メンバー全員の気持ちと音がひとつになって高揚が最高潮に達したときの、えも言われぬ快感が大好きでした。

15年ぶりにライブをやってみようと思いついたのには理由があります。40歳になろうとしている今、果たして自分は当時と同じ快感を、興奮を感じられるのだ

ろうか? 感性は老け込んでいないか? そんな興味といえいいでしょうか。実際のところは……そうですね、体調不良で不本意な部分もありましたが、久しぶりの演奏としてはなかなか満足のいくものでした。何より驚いたのは、昔取った杵柄といったら大げさですが、二度三度合わせただけで、バンドのメンバーたちとの呼吸がビビッとそろったこと。当時のフィーリングがすぐに戻ってきたのです。

何でもかんでもぶつけ合って気心の知れた仲間同士、バンドという「基盤」があって初めて、演奏は成り立ちます。音

だけでなく、心も共鳴しないことには、いい音楽は生まれません。久々のライブでそう気づいたときに、会社も全く同じだなと思ひ至りました。私がひとりで「やるんだ」とけしかけたところで上手く回るはずもない。会社という基盤の上、社員全員で同じ方向を向き、そこから初めて物事が動いていきます。

下手でシャイだったがゆえに、ならば音楽で自分を表現しようと頑張っていた少年は、今、経営というステージで自分を表現する機会を得ました。会社でも社員全員と心をひとつにして、いいハーモニーを奏でていきます。